



UNITED NATIONS
UNIVERSITY

生物多様性条約第11回締約国会議(COP 11 インド)に向けて

アジアの世界農業遺産の可能性

国連生物多様性の10年キックオフ記念GIAHS国際フォーラム

2011年12月16日(金)10時~17時20分

場所:ホテル金沢4階エメラルドA(石川県金沢市堀川新町1番1号)

主催:国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
(UNU-IAS OUIK)

共催:上智大学大学院地球環境学研究科

後援:石川県、佐渡市、北國新聞社、「能登の里山里海」世界農業遺産活用実行委員会(予定)
金沢市(予定)、金沢大学(予定)、農林水産省(予定)

入場無料



国連生物多様性の10年のキックオフを記念して開催する本フォーラムでは、アジアのGIAHSサイトの代表者が一堂に会し、GIAHSの活動がどのようなかたちで生物多様性の保全に貢献し得るかを探ります。また、GIAHSの可能性やその持続性の課題、更には技術革新と伝統的なものとの統合にも焦点を合わせ、世界の人々にとって持続可能な未来を実現するために、GIAHSがどのように生物多様性の損失という問題の解決に寄与するかを議論します。2011年6月に中国の北京で開催されたGIAHS国際フォーラムの成果をもとに、今回のフォーラムでは、アジアのGIAHSサイトの地域関係者、政策立案者、研究者および市民団体が、国連生物多様性の10年を通じてアジアにおけるGIAHSサイトどうしの交流を深め、GIAHSのネットワークづくりや活動を展開していくことを目的としています。

プログラム

10:00 午前の部

司会進行: あん・まくどなると

開会挨拶

1. 谷本正憲氏 (石川県知事)
2. 武元文平氏 (七尾市長、GIAHS 能登の里山里海代表)
3. 高野宏一郎氏 (佐渡市長、GIAHS トキと共生する佐渡の里山代表)
4. 武内和彦氏 (国際連合大学副学長)
5. 山田修路氏 (農林水産省農林水産審議官)
6. アフメッド・ジョグラフィ氏 (生物多様性条約事務局長) ビデオメッセージ

10:50 基調講演

1. 国連生物多様性の10年におけるGIAHSの可能性
バルヴィス・クーハフカン氏 (FAO・GIAHS事務局長)
2. アジアにまたがるGIAHS ネットワークの構築
リー・ウェンファー氏 (中国科学院院士、地理科学・資源研究所自然文化遺産研究センター主任)
3. 日本におけるGIAHSの可能性—地域づくり、研究および政策イニシアティブの可能性
永田明氏 (国連大学サステイナビリティと平和研究所 シニア・プログラム・コーディネーター)

12:00 昼食

13:30 午後の部

司会進行: あん・まくどなると

アジアのGIAHSサイト紹介

1. 中国のGIAHSパイロットサイト (中国)
ミン・チンウェン氏 (中国科学院地理科学・資源研究所自然文化遺産研究センター副主任)
2. イフガオの棚田 (フィリピン)
ネルソン・デバナデラ氏 (フィリピン環境天然資源省 保護地域野生生物局 副局長)
3. コラプット農業遺産、およびクッタナド農業遺産 (インド)
アニル・クマール氏 (MSスワミナサン研究財団主任)
4. 能登地域の里山里海 (日本)
高野誠鮮氏 (羽咋市農林水産課ふるさと振興係課長補佐)
5. トキと共生する佐渡地域の里山 (日本)
斎藤真一郎氏 (佐渡トキの田んぼを守る会 会長)

15:30 休憩

15:40 GIAHSサイト代表者によるラウンドテーブル・ディスカッション

(中国、フィリピン、インド、日本)

モデレーター: バルヴィス・クーハフカン氏 (FAO・GIAHS事務局長)

ラウンドテーブル・ディスカッションでは、GIAHSの実施に関する方法論的側面や、生物多様性コンポーネントとの連携の検討、気候変動の時代におけるGIAHSのようなシステムのレジリエンス (適応力) について議論を行います。

閉会の挨拶

1. 高嶺彰氏 (農林水産省北陸農政局長)
2. 藤原勲氏 (石川県環境部長)

対象: GIAHSサイトの地域関係者、地方自治体および
政府の政策立案者、研究者
言語: 日本語または英語 (日英同時通訳あり)
定員: 70名

参加をご希望の方は、「GIAHS国際フォーラム、参加希望」と明記し、お名前、ご所属、ご連絡先 (電話番号またはE-MAILアドレス) を下記FAX番号またはE-MAILアドレス宛にお送りください。

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニット
FAX: 076-224-2271
E-MAIL: unu-iasouik@ias.unu.edu